



佐呂間町長
川根章夫
年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしく希望に満ちた新春をご家族おそろいで健やかに、お迎えのこととお慶び申し上げますとともに、旧年中は町政全般にわたりまして、格別のご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年8月の町長選挙におきまして、町民の皆さまをはじめ各方面からの力強いご支援を賜り、町長に就任させていただきました。以来、3か月が経過いたしました。地方自治体を取り巻く厳しい環境の中、職責の重さを日ごとに実感する毎日であり、振り返る余

り、本町の基幹産業であります農業・漁業の生産高においては、年度当初の予算から余り大きく乖離することもなかったとの報告を受けていますが、高騰し続けた飼料代、燃料費の値上げは、それぞれの所得面に大きなダメージを与えたことは事実であります。

更に、昨年度から適用されました品目横断的経営安定対策においては、要求内容が適切に反映されていない等の問題もあり、農業者への不安と所得保障においても課題を残した対策とも思われます。しかし、新たに農業生産法人が組織され、農業の振興と地域の活

性化を目指す受け皿として、大きく期待をされているところであり、新たな分野への進出「そばの店はまほろ」にも興味をもっているところではあります。

さて、昨年を振り返りますと、国の内外で様々な出来事がありました。4年に1度開催されます夏のオリンピックが、中国の北京市で開催され、世界の国々の代表が自国の名誉と全世界の平和を願って、熱戦を繰り広げた2週間でした。

国内に目をむけますと、国会においては、衆議院と参議院における「ねじれ国会」により、国内外に多くの問題が山積しているにも拘らず、物事が遅滞と進まない状況であり、更には2度続けて内閣退陣と不名誉な事態を招き、その後の麻生内閣においても、確固たるリーダーシップが発揮されていないため、益々混迷を深めています。

反面、未だ終結をみることなく世界の各地で紛争が続き、弱い子どもやお年寄りが毎日のように犠牲になっていく報道を聞くとき、非常に悲しい出来事と思われれます。

原油の先物取引に端を発したオイルマネーとアメリカに端を発したサブプライム問題は、全世界の経済が世界恐慌並へ下降し、未だ経済の回復が見受けられない異常な事態と思われれます。

先程述べましたオイルマネーとサブプライム問題は、日本の中小

が、昨年から新たに義務付けられました、地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率におきましては、それぞれ指標以内の数値となっておりませんが、厳しい状況であることを認識しなければなりません。

地方が生き残るためには、地方

企業や世界のトヨタ等の日本の産業全体を減収・減益更には、赤字決算を余儀なくされる事態となり、先の明るさが見通せない厳しい経済社会となっております。

新年あけましておめでとうございます

企業や世界のトヨタ等の日本の産業全体を減収・減益更には、赤字決算を余儀なくされる事態となり、先の明るさが見通せない厳しい経済社会となっております。

一方、自然災害では、岩手県を中心に2回の地震がありました。台風・集中豪雨等の発生が少なく、例年に比べると自然災害の少ない年であったような気がします。しかし昨年も全国各地において、秋葉原などの無差別殺傷事件等の信じられない、信じたくない人間不信に陥る悲惨な事件が、多い年でもありました。

また、昨年も食料品を取巻く様々な事件が発生した年でした。農薬等が混入された食品の販売、産地表示偽装食品の販売と、経営者の安心・安全な食への取組みを大きなげかけた事件となりました。

このような社会状況の中で、我が町の昨年を振り返りますと、一昨年に続き自然災害もなく、春先から比較的穏やかな気象状況に恵

に住んでいる私たちが、努力していかなければなりません。本町には他に誇れる農業・漁業の基盤整備を今まで同様に推進して参りたいと考えております。更に少子高齢化が進む中であって、福祉施策並びに子供達が健やかに育つ教育環境の整備に、最大限の努力を私共町職員一丸となって頑張ることをお誓い申し上げます。

新しい年が皆さまにとりまして、最良の年となりますとともに合わせて、ご健勝でご発展を心よりご祈念申し上げます。

謹賀新年

<p>佐呂間町</p> <p>町長 川根 章夫</p> <p>副町長 山本 英人</p> <p>他職員一同</p> <p>町議会</p> <p>議長 鈴木 洋</p> <p>副議長 長屋 和敏</p> <p>他職員・職員一同</p> <p>教育委員会</p> <p>委員長 中道 寛雄</p> <p>教育長 香川 健一</p> <p>他委員・職員一同</p>	<p>農業委員会</p> <p>会長 長岡 敏雄</p> <p>他委員・職員一同</p> <p>選挙管理委員会</p> <p>委員長 須藤 久幸</p> <p>他委員一同</p> <p>監査委員会</p> <p>委員 杉本 将俊</p> <p>委員 佐藤 昭男</p> <p>遠軽地区広域組合佐呂間町消防団</p> <p>団長 五十嵐 正一</p> <p>他団員・職員一同</p>
---	--



佐呂間町議会議長
鈴木 洋



と、8月に開催された北京オリンピックでは、日本選手の活躍により金、銀銅メダルを獲得し、日本国民に大きな喜びと若人には夢と希望と勇気を与えた年でもありました。10月には4人の日本人がノーベル賞を受賞されましたことは、国内に明るいニュースとして関心と感動を呼び、日本人としての誇りと夢を与えてくれました。

総水揚げは前年度を下回る23億円程度と見込まれていますが、今後の価格に期待をすることがあります。本町の観光産業の主要な宿泊施設ホテルルートイングランティアサロマ湖が観光客減少により冬期間営業休止となり、地域経済のみならず商工業界に大きな痛手を受ける状況となっておりますが春からの営業に期待をすることがあります。

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい平成21年の新春を迎えられ心より喜び申し上げます。

姿勢に対する国民の不信不安は計りしれないものがあります。さらに、サブプライムローン問題により株価の下落、輸出環境悪化による景気減退、雇用不安等、国民生活は益々苦しさに直面しそれぞれの景気回復施策に期待をするものです。社会面では卑劣な詐欺事件や無差別な犯罪など大きな社会不安が増幅しておりますし、食に関しては産地偽装など消費者の「食の安全・安心」が強く求められ食料品の製造・加工業者等の表示の適正等の法令遵守が求められています。

本町の昨年を振り返りますと、8月の町長選挙で5期20年の堀前町長から川根町長が就任し新たな町政へと引き継がれ本町発展への行政手腕に期待をすることがあります。

今後において国の予算が厳しく削減される中、合併新法への対応、基幹産業の活性化対策、少子高齢化社会に対応する福祉政策の充実、第三次産業による雇用確保など課題山積であります。こうした厳しい財政環境や経済環境の中にあつて、町議会においては本年9月に4年に1度の改選期を向かえますが、地方分権の進展にともない、今まで以上に議会の役割は益々重要となります。

昨年を振り返って見ますと、国内外ともに様々な出来事がありました。国際的には、原油高騰、アメリカに端を発した金融不安による世界経済の停滞、各国で多発するテロなど平和と安全を不安と恐怖に陥れるもので、強い憤りを感じるものであります。また、世界各地で異常気象により洪水や干ばつが発生し、食料の危機がさげばれ地球規模での温暖化防止にも一人一人が認識を深め、積極的な取組がなければなりません。

北海道においては、7月の主要国首脳会議が、北海道洞爺湖町で開催される、喜ばしいニュースがありました。大都市と地方の地域格差は拡大し、とりわけ北海道は今だ底冷えの状況にあります。商工・土木・建設業界では、国の事業予算の大幅な削減により、厳しい状況が続いているのが現状です。文化・スポーツに目を向けて見ます

本町の基幹産業であります農業は、気象的には夏から秋にかけての大雨等の災害の発生はなく、比較的平穏に推移した気象状況で農作物全般の収量は平年並みとなりましたが、生乳生産量の落ち込みがおおきく、結果として71億円程度の生産額が見込まれるところですが、今後貿易自由化という世界的潮流が進む中での行方によって、本町農業に大きな打撃を与えたことは間違いない、町の存亡にもかかわる事態として非常に憂慮されております。

町議会は町民の皆さまのニーズを的確に把握し町政に反映できるように議会活動に全力を傾注して、常に研鑽を重ね、議会がその機能を十分に発揮し応えられるよう全力で頑張っております。今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます。

国内におきましては、経済も政治も沈滞を続け、昨年発足した麻生内閣による内需回復の景気浮揚対策を盛り込んだ補正予算も先送りされるなど、政治

悲惨な交通事故をなくし、安全で住みやすいまちづくりのため、これまで多くの町民の皆さんとともに、交通安全運動に取り組んできましたが、残念ながら平成18年9月の発生から817日目の12月13日に、交通死亡事故が発生いたしました。

水産業におきましては、主力であります外海ホタテ9,600t、養殖ホタテ1,500tの水揚げですが輸出向け干貝柱価格の落ち込み、更には、さけ定置網漁業も昨年度より大きく下回り、

尊い命が失われたことは、誠に残念なことであり、痛ましい限りです。

このことから季節、本格的な冬を迎え道路の状態も圧雪やアイスバーンとなり、急ハンドルや急ブレーキによる事故の発生が懸念されます。

町としても、交通事故の撲滅に向けて、警察や関係機関等との連携を深め、交通安全運動の取り組みを進めてまいります。

今年も、町民の皆さまがご健勝で幸多い年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

町民の皆さんへのお願い

交通事故防止

悲惨な交通事故をなくし、安全で住みやすいまちづくりのため、これまで多くの町民の皆さんとともに、交通安全運動に取り組んできましたが、残念ながら平成18年9月の発生から817日目の12月13日に、交通死亡事故が発生いたしました。

- 運転手、同乗者の皆さん
- ・スピードダウンを励行し、全座席でシートベルトを着用してください。
- ・乳幼児にはチャイルドシートを使用してください。

このからの季節、本格的な冬を迎え道路の状態も圧雪やアイスバーンとなり、急ハンドルや急ブレーキによる事故の発生が懸念されます。

- 歩行者の皆さん
- ・道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認し、特に夜間は明るい色の服装や夜行反射材を着用してください。

交通安全防止は、何よりも町民の皆さん一人ひとりが、交通安全の意識を強く持ち、交通ルールを守り、正しいマナーを実践することが何より大切です。

町としても、交通事故の撲滅に向けて、警察や関係機関等との連携を深め、交通安全運動の取り組みを進めてまいります。

特に次のことに留意されますようお願いいたします。

どうか、町民の皆さんも家庭や地域、職場などで交通安全の意識の高揚を図っていただき、交通事故防止に一層のご尽力を心よりお願いいたします。

平成20年1月

佐呂間町長 川根 章 夫

STOP 交通事故

目指します

交通事故のない町に

佐呂間中学校3年

渡部 勇太

▼交通事故発生状況

(平成20年11月末)
発生 10件(±0件)
死亡 0人(±0人)
傷者 12人(±1人)
()内は前年比
発生件数は人身事故の件数

▼交通事故ゼロ運動

5日(12月18日現在)

▼デイトライト運動通年展開中

昼間点灯で交通事故減少の効果！
皆さんもぜひ参加してください。



交通災害共済制度が終了します

「交通災害共済」は、1人年額500円で2万円から100万円の見舞金を支給し、交通事故に遭われた方を救済する制度です。網走支庁管内におきましても昭和44年より制度が開始され、本町でも自治会を通じて多くの方に加入いただいているところです。しかし、現在は民間の傷害保険や自動車保険などが普及し、年々加入率が低減するなど、社会情勢の変化により制度の必要性が薄れたことから平成20年度末(平成21年3月31日)をもって募集事務を中止することとなりました。また、共済組合も平成21年度末(平成22年3月31日)をもって解散いたします。

※平成20年度中の事故につきましては、事故発生日から1年間請求が出来ますので、忘れずに請求願います。

■お問い合わせ 役場 町民課 住民活動係 TEL 2・1213



11/29 犯罪や事故のない年末年始を
▼バレーボール少年団交通安全旗・防犯旗取替

年末年始を控え、この時期増加する交通事故や犯罪を未然に防ぐため、佐呂間バレーボール少年団の皆さんが、古くなった交通安全旗、防犯旗の取り替えを行ってくれました。この時期は、スピードの出し過ぎによるスリップ事故や飲酒運転による事故、また、空き巣などの身近な犯罪が起こりやすくなります。ちょっとした油断で事故や犯罪被害に遭わないよう十分注意してもらおうと、1枚1枚新しい旗に交換してくれました。

11/26 はじまります、新しい裁判。
▼自治会連合会 裁判員制度説明会

来年5月から始まる裁判員制度の説明会が、佐呂間町自治会連合会の主催により行われました。この制度は、国民が裁判員として刑事事件に参加し、有罪・無罪や刑の内容を裁判官と一緒に決める「国民の司法参加」を実現するものですが、制度開始を前に説明会を開催し、皆さんの不安や疑問を少しでも解消していただこうと行われたものです。当日は45名の方が参加され、広報ビデオや釧路地方検察庁の職員の説明に熱心に耳を傾けられていました。



11/23 真打ち競演!!
▼NHKラジオ公開録音

金原亭伯楽の豪華6組による競演に、何度となく笑いの渦に包まれました。景気の後退・食品の偽装問題など何かと暗い話題の多かった1年でしたが、明るく新年を迎えられそうな気持ちになった2時間でした。

なお、今回録音された番組は、(2月2日(月)午後9時5分～9時55分)、(2月9日(月)午後9時5分～9時55分)の2週にわたりNHKラジオ第1放送で、全国放送されます。

NHKラジオ「真打ち競演」の公開録音が行われました。会場は400名を超える観客でいっぱいになり、チャリーカンパニー、牧伸二、三遊亭歌之介、東京丸、京平、江戸家小猫



12/10 お正月気分を満喫
▼佐呂間保育所「おもちゃつき会」

昔ながらに杵と臼でつく餅つきを楽しんでもらおうと、今年も佐呂間保育所で祖父母参加による「おもちゃつき会」が行われました。ねじり鉢巻姿の児童たちが、おじいちゃんの手導のもと楽しそうに餅をつき、おばあちゃんが丸めてくれたあんこ餅などを美味しく味わうにほおばり、一足早いお正月気分を満喫しました。



12/11 更なる友好交流関係を
▼佐呂間町・パーマ市姉妹都市交流委員会設立

佐呂間町の姉妹都市であるアラスカ州パーマ市との友好と親善を促進するため、ボランティアによる姉妹都市交流委員会が設立されました。本町ではこれまでも委員会が組織されてきましたが、平成22年に姉妹都市交流30周年を迎えることもあり、新たに民間レベルでの委員会が組織されました。



委員長に就任された堀次郎氏は「これまでの28年間で双方あわせて延べ480人もの交流がなされてきている。行政が行なうべきこととは別にボランティア精神を基本に更なる交流を支えていきたい。」と話されていました。

12/17 人権尊重の理解を深める
▼北見人権擁護委員協議会人権書道コンテスト

北見人権擁護委員会と釧路地方法務局北見支局の主催による人権書道コンテストで、若佐小学校の鎌野稜子さんが最優秀賞を受賞されました。このコンテストは、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めることを目的として、北見支局管内の小学校5年生を対象に行われ、今年度は26校、932作品の応募がありました。鎌野さんには12月17日に表彰状が手渡されました。

